

生命のつながりに起きていること

緑豊かな大地と多くの生命を支えるミツバチを描き、 人の暮らしのありかたを考える。 傑作ドキュメンタリー映画



山田ほたる祭りと同時開催

土曜日

6/7

北九州市立山田緑地 大会議室

お申し込み先 NPO 法人グリーンワーク 093-383-6807

鑑賞料

1500 円 飲み物付き

高校生以下無料

ハチミツの試食も 行います



 $5/20 \sim 6/4$ 受付

担当 森川 舛本 090-9477-6983

みつばちの大地

実際にミツバチの 飼育場を有する 北九州市立山田緑地にて

黄金色のはちみつから生命の未来が見える

大昔からミツバチは花から花へ花粉を運び、地球上の生命を育んできた。

人間もその恩恵を受けており、毎日の食卓を彩る野菜や果物など、

私たちが口にしている食物の 1/3 はミツバチによって受粉されている。

しかし現在、ミツバチが大量に死んだり、失踪したりする現象が世界中で起きている。

ミツバチはなぜ消えたのか?

祖父の代からミツバチに親しんできたスイスのイムホーフ監督がアメリカ、ドイツ、

中国、オーストラリアなど世界各地をめぐり、その実情を丁寧に取材。

祖父との記憶やミツバチへの愛情を織り交ぜながら、現在、人間の活動が地球の

多様な生命のみならず自らの存在もおびやかしている現実を紡ぎ出す。

それらは鋭い文明批評でもあり、小さな「いのち」を通して、

自然と人間の持続可能な関係を問いかける必見のドキュメンタリーである。



2012

監督:マークス・イムホーフ

ドイツ・オーストリア・スイス合作

ドイツ語・英語・中国語/91分/DCP/アメリカンビスタ

原題: MORE THAN HONEY

© 2012 zero one film / allegro film / Thelma Film & Ormenis Film

